

【評価の基準】

(A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：改善の余地がある、D：相当の改善を要す、E：わからない)

評価項目	評価の観点	評価 (%)				
		A	B	C	D	E
今年度の重点目標	・本年度の重点目標は、生徒の実態と保護者や地域の願いを踏まえた妥当なものだったでしょうか	43	43	0	0	14
組織の連携	・全職員共通意識の下に各課題に取り組むことができたでしょうか	43	43	0	0	14
情報の共有・発信	・地域の方や中学生に総合学科高校としての本校の教育活動や魅力を伝えることができたでしょうか	2	71	0	0	0
学力の向上	・学力向上に向けた指導は充実していたでしょうか	14	71	0	0	14
進路実現のための指導体制の充実	・生徒一人ひとりの進路実現のための個々に応じた指導を十分に行うことができたでしょうか	71	29	0	0	0
キャリア教育推進 科目選択に対する 支援の充実	・インターンシップや「産業社会と人間」等を通して、キャリア教育を十分に行うことができたでしょうか	57	43	0	0	0
生徒支援の充実	・挨拶や身だしなみ、時間厳守等の指導により、生徒は基本的な生活態度を身につけたでしょうか	57	43	0	0	0
	・人権を尊重する態度、社会規範意識を向上させることができたでしょうか	14	71	0	0	14
生徒会活動の支援	・生徒が主体的に活動できるように支援できたでしょうか	100	0	0	0	0
クラブ活動の充実	・クラブ活動を通して心身の育成や充実した学校生活を送れるように支援することができたでしょうか	29	57	14	0	0
図書館・視聴覚係 の運営の充実	・生徒が主体的に進路を選択するための資料を収集することができたでしょうか	71	0	0	0	29
健康で住みよい学 校づくり	・学校全体の健康管理を進めることができたでしょうか	71	29	0	0	0
資源のリサイクル 化の推進	・資源物のリサイクルを進めることができたでしょうか	43	57	0	0	0
同窓会の充実	・生徒の学習・クラブ活動の支援を図り、同窓会事業が充実したものとなったでしょうか	86	14	0	0	0
教職員と保護者お よび地域の連携を 深めるPTA活動 の推進	・教職員と保護者とが連携して積極的なPTA活動を進め、地域に貢献することができたでしょうか	86	0	0	0	14

【今年度の重点目標】

- 生徒、保護者の皆さんのアンケート結果からも、達成できたと思います。
- 地域との連携の促進。
- 重点目標の設定内容は一般的な妥当なものと考えられるが、保護者や地域の願いを反映したものかどうかの判断材料が乏しく評価しにくい。
- 社会の進む方向の曖昧さが増す中、これまで基本とされてきたことの揺らぎが感じられる。教える側にそのことへの関心が向いているか、感性を高める探究心を育むことにつながっているだろうか

【組織の連携】

- 学校自己評価を尊重します。先生方も対応する課題も多く時間も足りない中大変だと思いますが、引き続きよろしくお願いします。
- 教員の負担が大きく、それぞれのご担当の業務に日々忙殺されていて、大変なものと拝察します。
- 先生方が研鑽を積み、生徒への接し方を日々研究されているだろうが、それが受け取る側にどのように響いているかも課題か。

【情報の共有・発信】

- 評議員会や文化祭の発表でそう感じました。
- ホームページから学校行事や学習の様子が写真も多く更新されていて部活動の様子も伝わってきます。中学生には少し固いイメージを受けるのではと感じました。
- まだ理解されていない所もある。
- オクレンジャー、ICT の活用が進んでいる状況。
- 地域の総合学科に対する認識が定着しているとは言い難い。その証拠として総合新校に進学コース設置の議論がいまだにある。子どもの可能性を伸ばす工夫が更に必要か。
- 新聞や広報での情報発信で活動等の内容が分かりやすく伝わったと思う。

【学力の向上】

- 生徒の学力をかなり上回る難しい授業や難解な課題図書などがあると感じることはありません。
- それぞれの目標を持った生徒へのアプローチはあると思う。しかし、高校での学びの中から進方向を探し、学び続ける必要性を体得できているかどうかは分からない。
- 学校自己評価を尊重します。○教員不足が指摘されている。
- 生徒アンケートでわかりやすい授業とした回答が5～6割にのぼっている。

【進路実現のための指導体制の充実】

- 先生方がとても親身になり進路相談に乗ってくれたと複数の人から人づてに聞きました。
- 生徒一人ひとりに、寄り添われた指導がされていると思います。
- 進路希望を叶えるため学校全体で組織的に取り組んで欲しい。
- 進路指導中間報告を拝見する限り充実した指導が行われたと拝察しました。
- 生徒の側から体験を通じての要求されることが理想で、そのことに様々な経歴を有する先生方が応えていく姿が見えるように願う。

【キャリア教育推進科目選択に対する支援の充実】

- 学習成果発表会に1年生「産社キャリアウィークのまとめ」からも、皆さんがとても貴重な体験をされ学ばれたことを皆さんに発表し聴いてもらい、良い時間だと思います。今後も協力してくださる地元企業の拡大や自分の進路を見つけるヒントにつなげていただけるよう交渉をお願いします。
- 将来の社会で活躍するための能力を育成し自己実現を支援して欲しい。
- キャリア教育が総合学科の最も重要な部分。社会で活躍するたまにどのようにキャリアを考えればいいのか、そのために何を学ぶべきかが大切。

【生徒支援の充実】

- 学校周辺を歩いていると挨拶をしてくれる子がとても多いと感じました。時間厳守はまだまだルーズな生徒も一定数いるように思いました。
- みだしな、時間厳守、基本的な生活態度について、高校生でもあるため、先生方が支援するのか少々疑問に感じます。
- 気持ちの良い挨拶や身だしなみ、きちんとされていると感じます。
- 生徒と保護者に情報共有されている。
- 校内では挨拶をしてくれる生徒が多い。でも挨拶だけでは何か不足している気がする。
- 生徒の多様化する悩みや困りごとの対応は大変だと思いますが、今後もカウンセリングや外部機関との連携を深めていただければと思います。
- 人権を尊重する態度は社会生活では欠くべからざるもの、すべての生徒が公平な目を持つことが大切。
- SNS 等での問題があったり、もう少し自分の意識を変える必要があると思った。

【生徒会活動の支援】

- 学校祭等、生徒達が自主的に考え良い結果が残せたのは先生方の支えがあったからだと思う。
- 学校評議員会で生徒会役員の発表等を聞く中で、生徒が主体性を持って取り組んでいるように思う。
- 生徒会がしっかり活動されている様子を、生徒発表等の場で確認しました。
- 志輝祭など活発な活動ができた。
- 志輝祭では、生徒の皆さんの気持ちの良い挨拶や丁寧な接客、笑顔がとても印象的でした。生徒の皆さんの意見を尊重して、先生方も優しく見守り応援されている様子が伝わってきました。
- のびのびやらせてもらっている様子が伺えます。

【クラブ活動の充実】

- 結果はともあれ、同じクラブを通じて皆が一体になって活動したことは1年の頃よりも3年のほうが心が強くなっている。先生がたの支援によるもの。
- 一部の部活のように脚光を浴びるものもあるが生徒がこうした楽しみを前面にだす姿を見たいもの。
- クラブ加入率が51パーセントと低い点は改善の余地がありそうです。
- クラブ活動の加入促進に努めて欲しい。
- 新聞で生徒の皆さんの活躍を目にすると、とてもうれしく思います。クラブ活動については個人の自由ですがクラブ活動を通じて得る貴重な体験もありますので引き続き、ご対応をよろしくお願いします。
- 30年前の殺伐とした感じと違いそれぞれのクラブが楽しそうに活動している姿が良かったです。

【図書館・視聴覚係の運営の充実】

- 学校図書館はどのように活用されているのだろう。なんでもネットでの検索が可能となっている中でネットリテラシーを養うことができているのさろうか。
- デジタル化等への対応はどの程度進んでいるのでしょうか。
- 探究的な学びなどの資料など資料収集できた。

【健康で住みよい学校づくり】

- コロナ以降自身や周囲の健康に配慮する生徒の姿勢が鮮明になっていとおもう。
- 特に大きな問題は発生しなかったと考えています。
- 今後も引き続き学校と家庭が協力し合い健康管理を進めてくださればと思います。

【資源のリサイクル化の推進】

- 校内での目に見える取り組みは確認できる。校外ではどうなのだろう。
- ごみの分別意識の向上に努めて欲しい。
- 一部生徒ができていないとのことで、係の生徒も大変だと思いますが、なぜ分別リサイクルが必要なのかそ

の後はどうなっていくのか話し合っていく時間も共通認識を持って活動していく上で大切だと思いました。

【同窓会の充実】

○多くの同窓生を有する同窓会としての特徴をさらに発揮していただきたい。

○井戸の修復大変お疲れさまでした。コロナ前の活動に回帰できたとのことお疲れ様です。

【教職員と保護者および地域の連携を深める P T A 活動の推進】

○PTA 活動による地域貢献はどのようなものであるのか。かつての空き家活用の取り組みに PTA も関与し生徒の達成感を高める必要がある。

【全般】

○中野西との統合による総合学科新校について

- ・大学進学を含め学び続けることで新しく見えてくるものがあるという気持ちを生徒が育める教育課程を組んでいただきたい。
- ・地域産業との接点を大きくして一次産業や医療を考える素地を作っていただきたい。
- ・中学校との連携を強化し、総合学科ならこうした学びが可能だということを中学生、保護者に届けていただきたい。